

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【公開番号】特開2014-216166(P2014-216166A)

【公開日】平成26年11月17日(2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-063

【出願番号】特願2013-92302(P2013-92302)

【国際特許分類】

H 01 R 13/64 (2006.01)

【F I】

H 01 R 13/64

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

第1コネクタと；前記第1コネクタと前後方向において嵌合可能な第2コネクタであって、前記前後方向と直交する上下方向において、前記第1コネクタに対して上部を上方に向けて嵌合する正嵌合及び下部を上方に向けて嵌合する逆嵌合の両方の嵌合が可能な第2コネクタと；を備えたコネクタ組立体であって、

前記第1コネクタは、前記前後方向及び前記上下方向の双方と直交する左右方向に延びる板状部と、前記板状部の上部に設けられた第1上側コンタクト及び下部に設けられた第1下側コンタクトと、前記左右方向において離れて位置する第1ガイド部及び第2ガイド部とを備えており、

前記第2コネクタは、前記板状部を受容する受容部と、前記受容部内の上側面に設けられた第2上側コンタクト及び下側面に設けられた第2下側コンタクトと、前記左右方向において離れて位置する第1正嵌合用被ガイド部及び第2正嵌合用被ガイド部と、前記左右方向において離れて位置する第1逆嵌合用被ガイド部及び第2逆嵌合用被ガイド部とを備えており、

前記第1コネクタは、前記正嵌合時及び前記逆嵌合時に少なくとも前記第2コネクタの前記受容部を収容する収容空間を有しております。

前記第1正嵌合用被ガイド部及び前記第2正嵌合用被ガイド部が前記第1ガイド部及び前記第2ガイド部の夫々にガイドされることによって前記正嵌合が可能になると共に、前記第1上側コンタクト及び前記第2上側コンタクト同士と前記第1下側コンタクト及び前記第2下側コンタクト同士とが夫々接続され、

前記第1逆嵌合用被ガイド部及び前記第2逆嵌合用被ガイド部が前記第1ガイド部及び前記第2ガイド部の夫々にガイドされることによって前記逆嵌合が可能になると共に、前記第1上側コンタクト及び前記第2下側コンタクト同士と前記第1下側コンタクト及び前記第2上側コンタクト同士とが夫々接続される

コネクタ組立体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

請求項 1 に記載のコネクタ組立体であって、

前記第 1 ガイド部及び前記第 2 ガイド部は、前記収容空間内において前記第 1 コネクタの上部から下方に突出し且つ前記前後方向に延びる凸部であり、

前記第 1 正嵌合用被ガイド部及び前記第 2 正嵌合用被ガイド部は、前記第 2 コネクタの前記受容部の上部に形成され且つ前記前後方向に延びる凹部であり、

前記第 1 逆嵌合用被ガイド部及び前記第 2 逆嵌合用被ガイド部は、前記第 2 コネクタの前記受容部の下部に形成され且つ前記前後方向に延びる凹部である
コネクタ組立体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

1 0 0、 1 0 0 A	第 1 コネクタ
1 0 2	上部
1 0 4	下部
1 0 5	ハウジング
1 0 6	収容空間
1 1 0、 1 1 0 A	シェル
1 1 2	上部
1 1 4、 1 1 4 A	側部
1 1 6、 1 1 6 A	下部
1 1 8 F、 1 1 8 R	脚部
1 2 0	シェル開口部
1 2 2	誘い込み部
1 3 1	ガイドレール（第 1 ガイド部）
1 3 2	ガイドレール（第 2 ガイド部）
1 3 3	ガイドレール（第 3 ガイド部）
1 4 0	板状部
1 4 2	上部
1 4 4	下部
1 5 1	上側コンタクト（第 1 上側コンタクト）
1 5 2	下側コンタクト（第 1 下側コンタクト）
2 0 0	第 2 コネクタ
2 0 2	上部
2 0 4	下部
2 0 5	ハウジング
2 0 6	受容部
2 0 7	上部
2 0 9	下部
2 1 0	シェル
2 1 2	上部
2 1 4	前部
2 1 6	下部
2 2 0	シェル開口部
2 2 2	開口部上部
2 2 4	開口部側部
2 2 6	開口部下部

2 5 1 上側コンタクト（第 2 上側コンタクト）
2 5 2 下側コンタクト（第 2 下側コンタクト）
2 6 1、2 6 2 溝部（第 1 正嵌合用被ガイド部、第 2 正嵌合用被ガイド部）
2 7 1、2 7 2 溝部（第 1 逆嵌合用被ガイド部、第 2 逆嵌合用被ガイド部）
3 0 0、3 0 0 A 第 3 コネクタ
3 0 2 上部
3 0 4 下部
3 0 5 ハウジング
3 0 6 受容部
3 0 7 上部
3 0 9 下部
3 1 0 シェル
3 1 2 上部
3 1 4 前部
3 2 0 シェル開口部
3 2 2 開口部上部
3 2 4 開口部側部
3 2 6 開口部下部
3 5 1 上側コンタクト（第 3 上側コンタクト）
3 5 2 下側コンタクト（第 3 下側コンタクト）
3 6 1、3 6 2、3 7 2 A 溝部（第 3 正嵌合用被ガイド部、第 4 正嵌合用被ガ
イド部、第 5 正嵌合用被ガイド部）
3 7 1、3 7 2 当接部（第 3 逆嵌合防止部、第 4 逆嵌合防止部）